

# 薬草園だより

令和3年初夏号

## 初夏の薬草園

吹き抜ける清々しい風と緑が一番美しい初夏の薬草園



木陰エリアを抜けて温室へ。



ハアザミ、マリアアザミ、アーティチョークなど存在感のある植物が見頃の芝生が広がる西エリア。



鮮やかなピンクのスイレン

ボタンやシャクヤクなど春に開花した植物も姿を変え、種や実をつけています



薬草園のシンボルツリー  
ヤマモモ



シューンベリー



セイヨウニワトコ  
(エルダーフラワー)



ボタン



シャクヤク

# スイカズラ

*Lonicera japonica* Thunb.

スイカズラ科

和漢名：【局】忍冬（ニンドウ）、金銀花（キンギンカ）

部位：葉と茎（忍冬）、花（金銀花）

成分：ロガニン

薬効：解毒、抗炎症

用途：銀翹散



花の根元を吸うと甘い蜜の味がするからスイカズラ（吸い葛）といわれています。英名（Honeysuckle）もそれに因みます。

花は咲き始めは白くやがて黄色になります。そしてとても良い香りを放ちます。一つの植物に白と黄色が一緒に咲いているかのように見えるので「金銀花」とも呼ばれています。

冬でも寒さに堪え、緑の葉を繁らせているという意味で「忍冬」とも言われています。スイカズラの蕾を乾燥させた金銀花茶は、熱を下げ、不要物の排出をサポートしてくれます。

ひとつの植物が花を咲かせる時期や色を変化させることには生きていくうえで意味があり、まだまだ解明されていないこともあるようですが、ただ美しく奇麗に見せるためのものではありません。

スイカズラのように、夜暗くても一番虫に見える白色（実際は色素なし）で、さらに香りを放ち、蜜を出して虫を誘います。そして受粉を終えると色を変え、確実に受粉できるようにしているとか。

私たちの目を楽しませてくれる花々を少し植物側からの視点で見してみるのも楽しいと思います。

# ウツボグサ

*Prunella vulgaris* Linne var. *lilacina* Nakai

シソ科

和漢名：【局】夏枯草（カゴソウ）

部位：花穂

成分：ロスマリン酸

薬効：消炎、利尿

用途：夏枯草散



花穂の上から開花し、いちばん下に小花が咲くころには、上の方は茶褐色になり、本格的な夏には枯れて黒っぽくなることから「夏枯草」とも呼ばれています。花穂が褐色になりかけのころ、地上部を採取して日干しにし、のどの痛みや扁桃腺に煎液でうがいに利用します。また英名では、自然に治すとの意から「セルフヒール」とも呼ばれ、古くから民間薬として使われていました。

薬用植物園 設楽 満希  
園長 榊原 巖